

OWAKE

の いっぽ

Vol.94

2P 特集「犬」

9P さんまんのほんぼこ

11P お知らせ

12P 編集後記



一文字だからって **犬** 手抜きじゃないよ!
INU

犬の鼻は死ぬほど冷たいので、冬は凶器である

実家には柴犬がいる。

海外でも人気の日本犬であり、公園で犬の散歩をしている人を見れば、半数近くが連れてくる。

日本犬というと某キャリア会社のCMで、お父さんになっている紀州犬や、大型で熊狩りにも使用される秋田犬等がいるが、ペットショップにいる日本犬は9割が柴。

わりと人懐こく、外でも飼い易い。

実家では昔から犬を飼っていて、今いる子は三代目。

飼い始めた理由は、母親が鬱を発症してしまったから。

猫でも良かったのだが、父親が猫が苦手なうえ、私も猫アレルギー。

で、結局ペットショップで安売りにされていた柴の女の子を迎える事になった。

それからというもの、母親の鬱症状はすっかり身を潜めた。

父親が亡くなった後、一人暮らしをしているが、犬がいるお陰でなんとか元気にやっている。

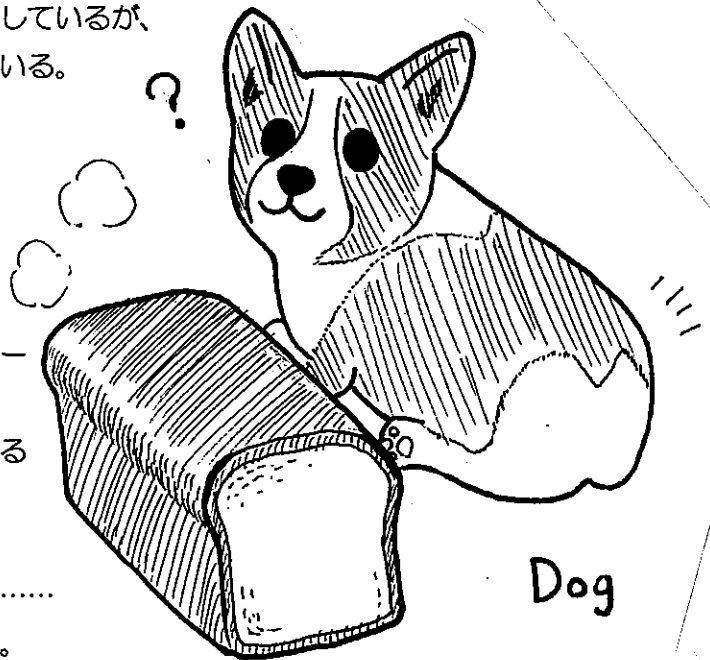
それでも「辛いな」と思って一人でじっとしている時は、近くにきて、ずっと寄り添っているようだ。

人と犬の歴史は長い。

くり返し品種改良を行い、狩りのパートナーから、人生のパートナーとして、今も人の生活と密接に関わっている犬達。

もし、これから犬を飼う方がいれば……
犬でなくてもだが、よく考えて欲しい。

最期の時まで、いのちを扱う覚悟があるのかを。



犬の印象。

アレルギー持ちのため、動物はあまり飼ったことがありません。男なので(?)、虫とか魚はありますが、ほ乳類は実は飼った経験がありません。で、そんな僕の初犬体験は、隣の家で飼われていた犬。名をミミーと言いました。中型犬で、よく吠えられました。おかげで、犬は怖いという印象がばっちりつきました(笑)。

次の犬の印象は……先生が飼っていた犬。小型犬で室内で飼われていたせいか、鳴かない、噛まない、甘え上手、匂いもないで、『こんな犬もいるのか』と思ったものです。小型犬でも気性が荒い犬もいるらしいですし、大型でも怖がりな犬もいるそうです。自分で飼うなら……やっぱり小さくておとなしい犬種が良いです。

グルメなわんこ

先日、「犬についてのコラムを書くのだがなにかいいネタはないか」と友人らにたずねたところ、「犬が食べられる中華屋があるよ」との返答をいただきました。「犬が食べられる」ときいてわたしは、わんこ用の中華フードがメニューにあるものだと思いました。ペットと一緒に来店してどうぞ、といった感じで。

しかしよくよく話をきいてみると、まてよ、食われるのはどうやら犬の方らしい。「犬が、ものを食べられる」ではなくて、「人様が、犬を食べられる」、そういう意味での「犬が食べられる」だったわけです。日本語が かい。

狗肉料理。調べてみると、新大久保や池袋で食べられるそう。主にベトナムや中国、韓国の食文化として嗜まれているようです。狗肉鍋、狗肉の炒め物、メニューも店によって様々なようです。

かわいいわんこを食べるなんてなんて野蛮! といった声も聞こえそうですが、考えてみれば、普段我々が食しているたまご、お肉、お魚、どれも一様に元は命であったもの。おいしい生き物達には、感謝の気持ちを。



いぬいぬいぬ

どちらかと言えば、私は犬が苦手だった。

小学生のころ、臆病でよく吠えてくる犬が近くに複数いたのが原因かもしれない。

けれど、小学生、中学生の時期、近づいても大丈夫な犬が必ず近くにいた。

最初は大型のコ。とても子どもが大好きで、まったく吠えず、近くにいくとそっとすり寄ってきてくれる。前足を私の足の上に乗せてくることもあった。バンダナが似合うかわいいコ。

次は小型のコ。尻尾がパタパタパタパタ。顔を見るととても喜んだ様子でまわりを走っていた。

最後はこいぬさん。

親戚の家に泊まりに行ったときに、たまたま預かっていた人の顔ほどの大きさのコ。

同じ部屋で寝ていたら、夜中に頭が重いなあと……、上に乗ってきてた。

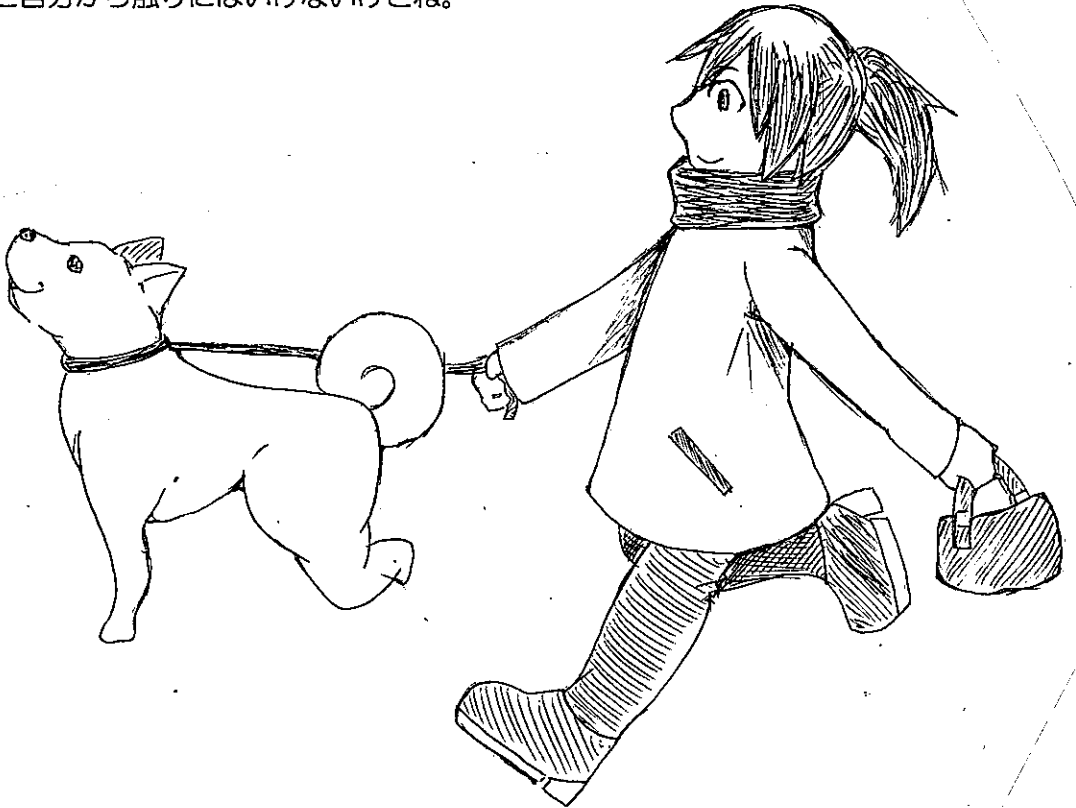
そして今。

親子3世代の小型一家。

見かけると近くに寄ってきて、懐いてくれる。

そんなこんながあって、犬が苦手だった私は、犬が苦手ではなくなった。

猫ほど自分から触りにはいけないけどね。



私と犬

今犬というと、正直苦手というのが本音です。

犬派か猫派かというならば、確実に猫派です。

犬にはいい思い出が無く、幼い時に、近所の犬に吠えられて怖かったことと、犬の種類までは覚えていないのですが、迷い犬なのか大型犬が家の玄関に急に入り込んで来て、襲われかけた時、姉が私を守ろうとその犬を外に誘導して、その時に姉は、その犬に引っ掻かれて怪我をしてしまい、それが今でもトラウマになっています。

昔よりは、犬に対しての苦手意識はなくなってきたかもしれませんが、反射的に犬がいると体がこわばる気がします。

やっぱり、トラウマはなかなか無くなるものではないですね。

いぬ

あれは小学校一年のころ。

通学路沿いにポメラニアンを飼っている家があった。

今思えば、何をたかが小型犬ごとき。と自分でも思うが、当時は小型犬でもめちゃくちゃ恐かった。

そいつは縄張り意識がとても強く、遠くを歩いているだけでも家の中から敵意むき出して吠えてくる。

小型犬だから声が甲高いうるさいので、家から出てこないとわかっていても恐ろしい存在だった。

こいつが一月に一日の頻度で、なぜか放し飼いにされて外にいるのだ。

それも、登校時に限ってだ。

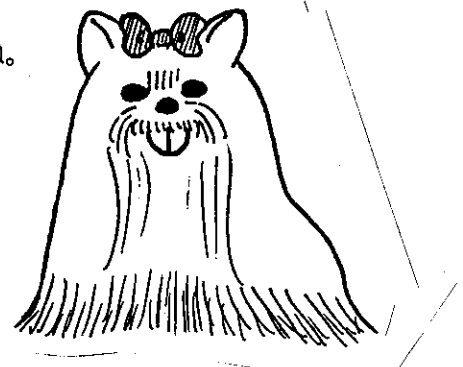
敵意むき出してキャンキャン吠えるポメ。噛まれることを恐れて泣き叫びおびえる低学年。高学年は低学年を一人ずつ背に隠しながらポメの猛攻に対抗する。

集団登校の通学路は阿鼻叫喚の地獄絵図だった。

これ、守ってもらえる立場だったらまだいい。守る立場になった時が本当の地獄。

同級生たちと共闘してポメに対抗した。

この体験から、犬はクッソ吠えて襲い掛かってくる恐ろしい生き物という常識が植え付けられてしまったので、犬は今でもちょっと苦手です。



イヌの漢字

あけましておめでとうございます。

今年は戌年ですが、このイヌと呼ぶ漢字は普段使うであろう犬の字ではありません。(調べると、戌の字には枯れる、滅ぶ、といったネガティブな意味もあるようです。)

戌も含めた干支(十二支)は、古代の中国から時刻や方角を表すものとして使われてきました。これらは覚えやすくするためにそれぞれの字に動物が当てられました。

今日の日本では、年賀状のイラストといった場面で、干支のそれぞれの動物が描かれることでこの慣習が続いているようです。

ところで動物のイヌですが、私はポメラニアンとダルメシアンが好きです。



ダルメシアンのプチトラウマ

その事件は私がまだ園児になる前に起こった。

母と姉と三人で買い物の帰りの話だ。

いつものように家に向かう途中、大型のダルメシアンを連れてご近所さんに出会った。

普通なら特に問題なくそのまますれ違うだけで終わっていただろう。

ところがそのダルメシアンくん(?)はかなりのやんちゃ者だったらしく、私と姉W幼児にかなり激しい吠えを連発してきた。突然の威嚇は効果あり、姉はすぐに泣き出した。

ダルメシアンの猛攻は止まらず、気が付いたら私の小さい肩に前足を掛け、おんぶの体制で背後至近距離でガウガウ吠えまくった。私は何が起こったのか把握できてなかったようで、終始泣く事も無く硬直していたらしい。

そしておんぶに飽きたダルメシアンは姉にターゲットを移し、猟犬の如く姉を追いかけた。その後、やんちゃダルメシアンは無事飼い主に回収され事なきを得た。後に聞いた話だが、姉は捕まることなく走って逃げ切っていたという軽い伝説を生み出していた。



犬は猫

卵が先かニワトリが先か問題と言う哲学的な問題がある。

卵からニワトリは孵るが卵はニワトリから産まれる為に起こる問題だが生物学的に考えればこの答えはとっくに解決していたりする。

答えは「卵」だ。

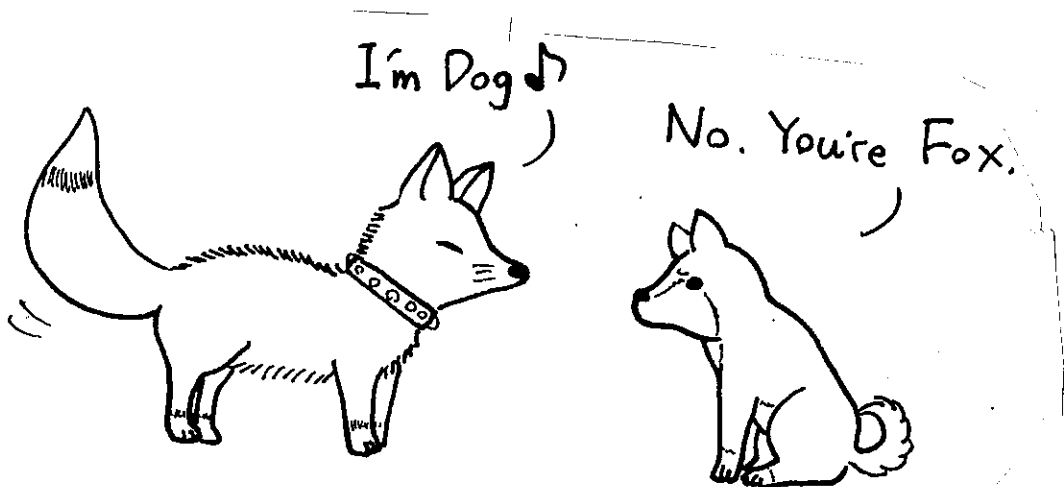
ニワトリは品種改良された家畜だが原種はセキショクヤケイと言う野生の鳥である。セキショクヤケイを品種改良し、ニワトリを産み出す為にセキショクヤケイの卵を使うから答えは「卵」に決まっているのだ。

さて去年の干支の事は置いて、イヌの大元をたどって行くと「ミアキス」と言う暁新世の哺乳類へと辿り着く。このミアキス、実は食肉目(ネコ目)の祖先(もしくは近縁)になるのだが食肉目(ネコ目)にはその名の通りネコの祖先でもあるのだ。

つまりイヌとネコは共通祖先を持つのである。そしてミアキス以降ははっきり「これ」と言うイヌとネコの最初に分かれ目はまだはっきりとわかっていないのだ。

まさに「イヌが先かネコが先か」問題である。これに関してはきちんとした状態の良い化石証拠が出てくるのを待つしかないだろう。

そんな訳で干支に猫年がないのは昔話でもあるくらい有名な事実だが案ずる事はない、戌年もミアキス年と考えれば猫年の様なもんである。



犬にまつわるちょっと真面目なお願い～ネコにも関係あるよ～

表題は何のことやら、と思ったあなた。実はこれ、ペットカートに関するお願いなのです。

さて、ペットを飼われていてペットカートをお持ちの方にお聞きします。ペットカートで愛犬とお出かけしようとして、駅で駅員から「ペットカートで乗せないでいただけますか」といわれたことはありませんか？

関東の鉄道各社、原則としてはペットカートで電車に乗れません（完全に出入り口が封じられていることが条件、チャックやファスナーは封じているとはみなされません）。ペットショップやホームセンターで「このペットカートは電車乗れます」と宣伝されていてもダメです。もちろん、ドッグスリングもダメです。

この背景には、「ほかのお客様とのトラブル防止」以上に「ペットの命を守るため」という理由があります。例えばエサやりの為にファスナーを開けたところに列車はタイフォン鳴らして、ペットがびっくりして線路に入り込んで（ここから先はお察してください）……という痛ましい事故が起きることもあり得るというわけです。

また、ペットには人間の電車代とは別に、「手回り品料金」という大きなお荷物・ペット用の切符を買わなければならない鉄道会社もありますのでご注意ください（適用・発売の条件は各社まちまちなので、事前に問い合わせるのがベター）。図書館にもある JTB 時刻表・JR 時刻表にも記述はあります。

犬にまつわるちょっと真面目なお願い。それは、愛犬という名の愛する家族を守るための、ちょっと大切なお願い。





さんまくんのほんばこ

『もじ鉄』

石川祐基／三オブックス／2018年

駅に行くときよく見る文字はないだろうか？

ポスター、複合券売機の数字、ガムテープで作られた誘導案内などなどあるけれど、この本が取り上げているのは、駅名標。なんだかよくわからない言葉のように見えるけれど駅名を表示したあの看板たちのことだ。

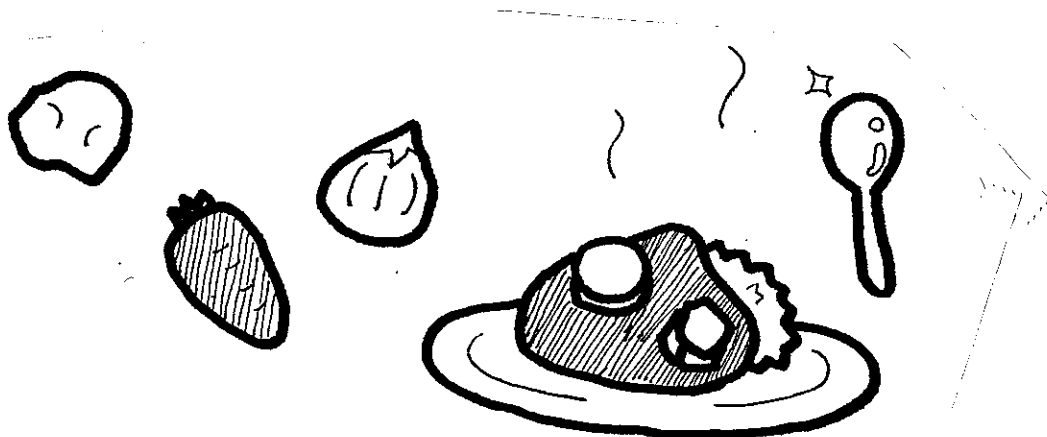
一見マニアック極まりないかもしれないけれども、実はデザインの本としてみるのがおすすめ。というのも、文字をどう置くか、どう見せるか、その配置がどのように見えるのかという空間デザインの傑作とみると、結構面白い世界が待っている、というわけだ。

明日からでいい。頭の上の看板の文字を少し美術的に眺めてみるのはいかがだろうか？

『僕は秋子に借りがある 森博嗣自選短編集』

森博嗣／講談社／2008年

森博嗣の13の短編がつまった一冊。ミステリから幻想小説まで、森文学を端から端まであじわうことができます。ひとつのお話は短いですが、著者ならではのからくりでみちています。森博嗣の小説をはじめて読むかたにもオススメ。わたしイチオシの作品は、「河童」。男性同士の、友情でも、恋愛でもない、不思議な思念のからまりあいの様相が、森文学味を醸しています！



『異世界食堂』

犬塚惇平／主婦の友社／2015年

洋食のねこやという、どこにでもある普通の洋食屋が舞台のお話。しかし、そのお店はひとつだけ他とは違うところがあります。

週に一度だけ、その扉は異世界へと繋がるのです。

食をテーマにした現代ファンタジーです。

毎回異世界に住む様々な種族や職業の方たちが、各々の事情で怪しい扉をくぐってみる。

するとそこは、ねこやに繋がっていて、とても美味しい料理が出てくるというお話になっています。

見どころは何と言っても美味しいご飯。

現代では当たり前のご飯、だけど異世界の住人には見たことも聞いたこともないその料理を初めは疑いながらも、食べていくうちにどんどんと手が止まらなくなる。

異世界の料理に舌鼓を打つその姿は、読んでいるだけでお腹が空いてきます。

全体通して“洋食のねこや”のお話として繋がってはいますが、1話だけ読んでみても切りがいい作りになっています。聞いたことがない料理が出てくる話だけ読んでみるのも、また、自分の好物が出てくる話だけ読んでみるのも、楽しいかもしれません。

登場人物たちも敵国の人間だったり、職にありつけない魔族だったり、病の姫だったり、行き倒れ寸前の騎士だったり……。

各々に理由があり、ねこやに入るに至った物語がある。そんな世界観の広さも、魅力の一つです。

食事というのは、毎日何となく、おうちにいると誰かが作ってくれるものかもしれません。いずれ、大人になってくると、その“誰か”が作ってくれる食事というのは掛け替えのないものだど気付かされます。

体は食べた物で作られてゆきます。

日々のご飯が美味しいというのは、とても幸せなことだと改めて気づかせてくれる一冊です。

編集メンバー：あまみ、kuya、K-tn、芹が谷、谷月、ブルドール、みかげ、ばんり、みゆん、たーた、Mu_min、流衣香、ひーちゃん、かれんか

「OMAKE no いっぽ」編集委員・投稿募集中!!!

あなたも次号以降の編集に参加してみませんか？

「OMAKE no いっぽ」の編集会議に参加してみませんか？

編集に興味のある人、イラスト、まんがを描くのが好きな人、みんなと何かしてみたい人など大歓迎です。

会議に出られなくても大丈夫。興味のある人は問い合わせてみてください。

企画の持ち込みも受け付けます。イラスト、ポエム、エッセイ、本やCDの紹介など、何でもOK。お名前（ペンネーム）も忘れずに。

なお、紙面の構成によってサイズを縮小することがあります。

ご意見やご感想もお待ちしております。

申し込み・投稿は下記八雲中央図書館 YA サービス担当までどうぞ。

郵送でも受け付けています。

次号以降の会議予定（毎月第3土曜日を予定しています）

日時

会議内容／発行号	95号	96号	97号
1回目 特集などの内容と担当決め	4月21日	8月18日	12月15日
2回目 文字原稿締め切り・校正	5月19日	9月15日	1月19日
3回目 全ての現行の締め切り	6月16日	10月20日	2月16日
4回目 発行・配付	7月21日	11月17日	3月16日

場所 八雲中央図書館内の会議室で行います。

（めぐろ区民キャンパス地下1階の図書館に入って、YAコーナーの奥の部屋）
直接編集会議に参加も大歓迎です。

お問合せ・お申込み・ご意見・ご感想は、

八雲中央図書館YA（ヤングアダルト）サービス担当まで。

目黒区立図書館YA広報誌「OMAKE no いっぽ」第94号

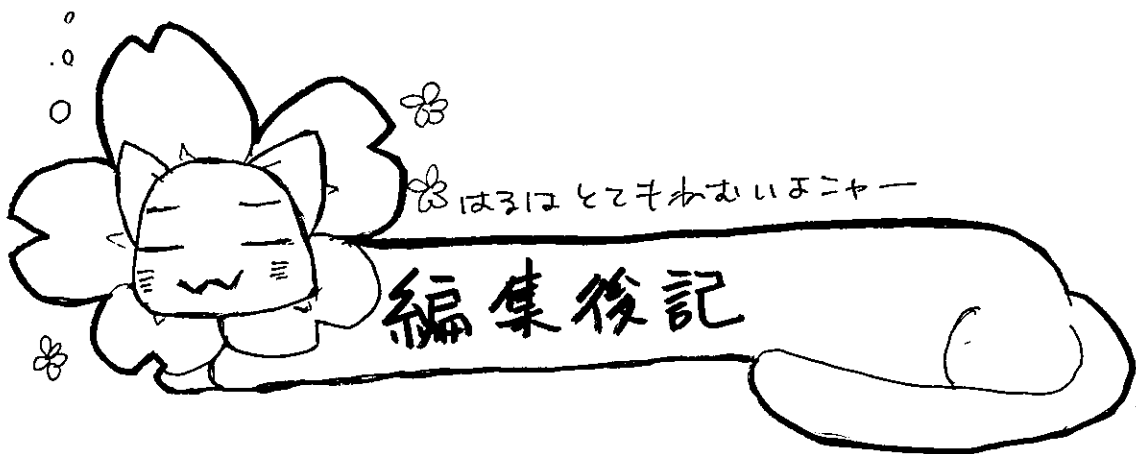
2018年3月発行

編集：「OMAKE no いっぽ」編集委員会

発行：目黒区立図書館

目黒区立八雲中央図書館YA（ヤングアダルト）サービス担当

〒152-0023 目黒区八雲1-1-1 Tel.(5701)2795



わたしはどこ？
where my place?

かこ ← Past	みらい Future →
--------------	-----------------

とほとほ
まほううち... *Ny. seriyoga*

冬野菜は高騰してて
春野菜は高騰してて
いいですね ^{ムム}
泣き ^{泣き}

開を秘めた顔になっちゃった ^{見せろ}
木。 ^{貝殻}
と
いっもの(?)ネコ。

最近アギエ(はじ)の
ました
あお=こ=あ=い=る=です。

新型 Z●IDS (いせてねえ)
単弓類型だたりないかね？

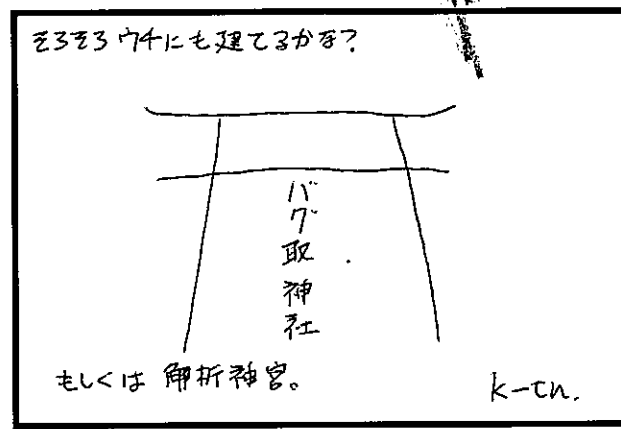
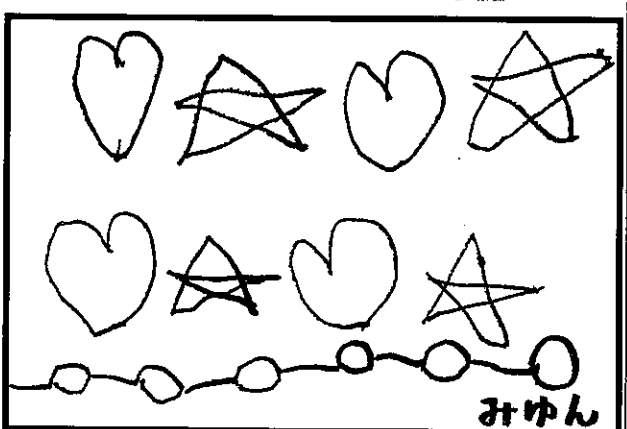
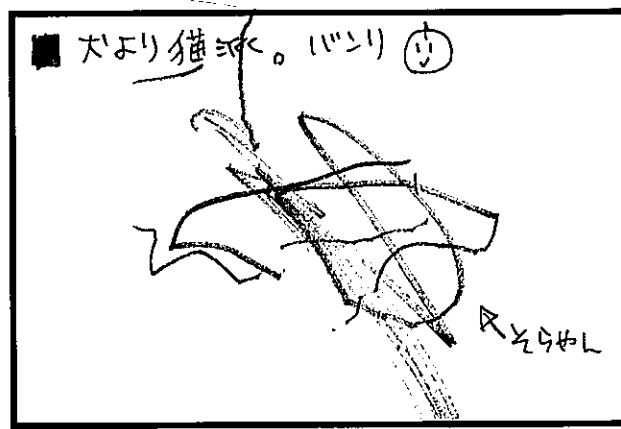
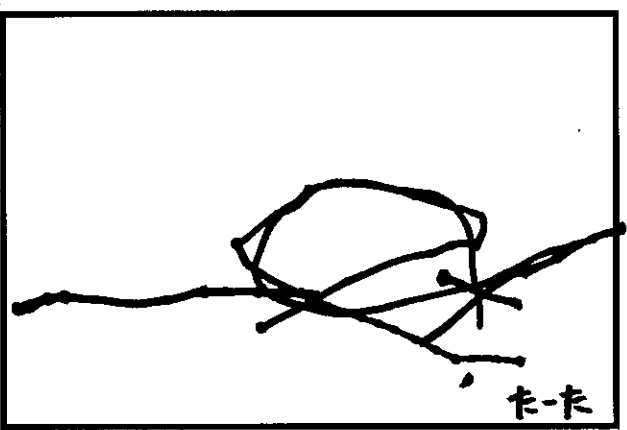
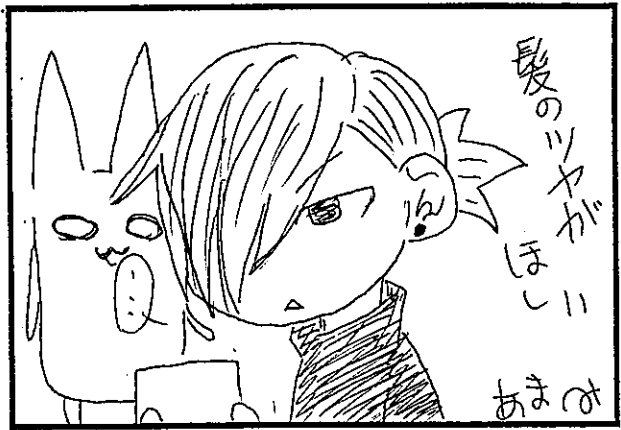
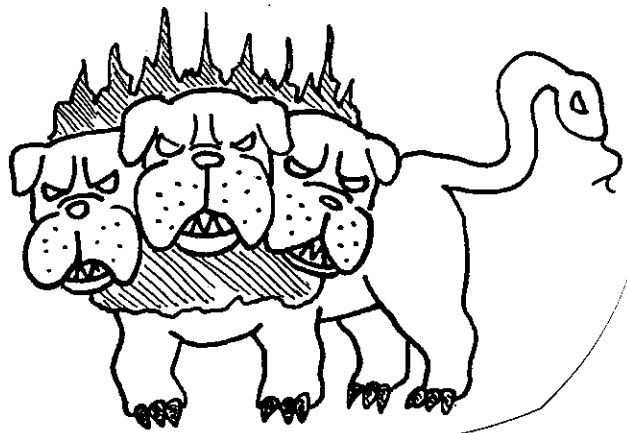
イヌ年だけど
ネコ派

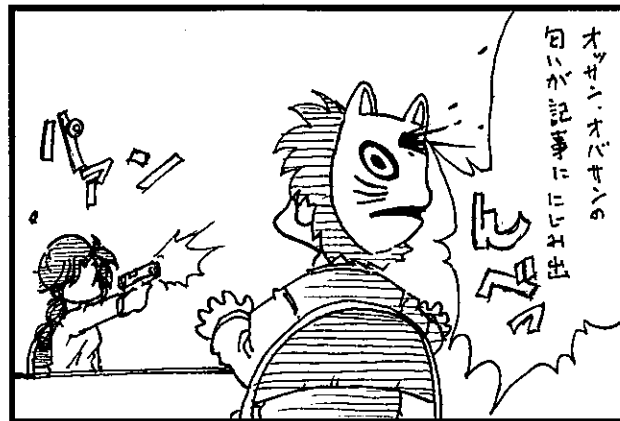
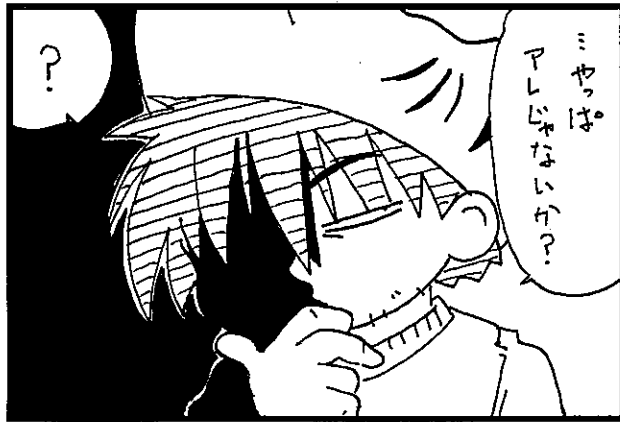
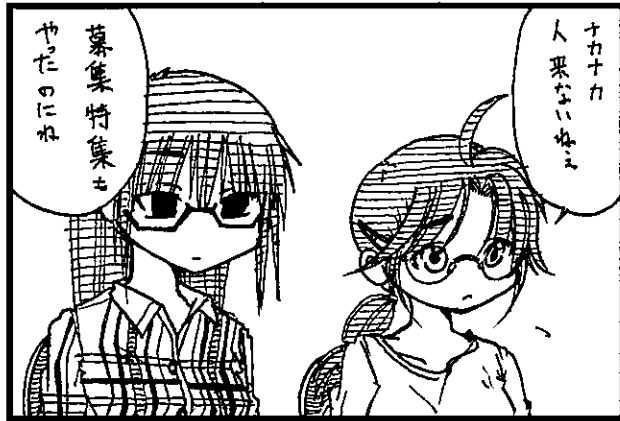
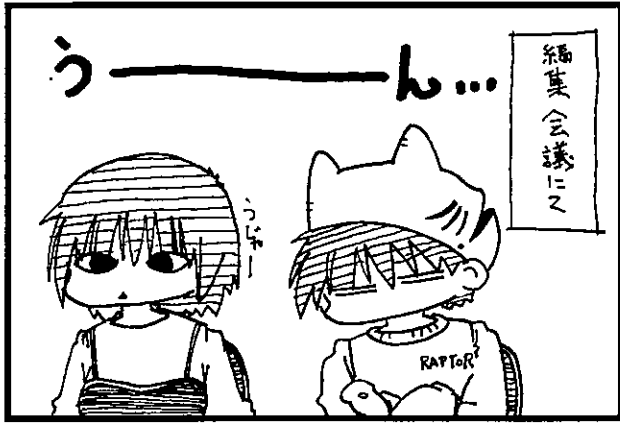
(24)

故あって初参加の かねんかじ
申します。

犬がわいいですよ。犬。わんこ。

犬も好きだけじゃ
 ほかの生き物全部
 好き♡
 mu-min





あまみの オマケ

-OMAKE No 11 ぽ-



AMAMI